

## 2023年冬合宿 三股から常念岳往復 12月29日～31日 L吉田秀、佐藤、吉田文

29日(晴れ) 桐生(4時発)—前橋—須砂渡ゲート(8時15分発)—三股(11時35分～45分)—2170m(16時30分)  
今年の冬合宿は、参加者が少なく吉田二人と緑さん3人。秀樹さんが装備一式持って、女性二人で食料を持つ。雪が少なく、最初の予定は、南東尾根からの取り付きを予定していたが、夏道で三股から登る。三股からの登りは、トレース無く、秀樹さんがルートをつけて、急登を休み休み登り暗くなる寸前で2100mの平坦地に着く。

30日(晴れ) テント場(6時53分発)—前常念岳(9時55分)—常念岳(11時30分)—前常念岳(12時20分)—  
テント場(14時30分)

快晴の中、朝5時に起き準備して出発。雪が少なく前常念までも夏道を進み、岩と雪のミックスで歩きづらい。秀樹さんが夏道通しにルートを選択。前常念からは、東尾根のパーテーと合流しルート上を行き歩きやすい。360度の景色は、素晴らしかった。

31日(小雪後雨) テント場(6時58分発)—三股(9時37分)—延命水(11時15分)—須佐度ゲート(12時17分)—  
前橋(16時30分)—桐生(17時30分)

下山は、前日のルートが、はっきり残っていて、歩きやすかった。雪が降っていても、軽い雪で、積もる心配がないので、安心。車に着く頃は、雨に変わる。

吉田文江 記

